

平成21年度事務事業評価シート (20年度実施事業分)

事業番号		11 03 04	中期総合計画主要施策番号		3-09,5-09		担当課	部・課	建設部 道路管理課	
事業名		道路災害防除事業(公共(道路管理))				内線		3403		
						E-mail		michikanri@pref.nagano.jp		
事業の概要等	事業の目的	・道路利用者が安全に道路を通行できるよう、落石等への防災対策施設を整備し、災害の発生を未然に防止する。								
	事業の必要性	【現状(事業の目的との間にどのようなギャップがあるか)】 ・防災対策施設について順次整備を進めてきているものの、落石等の要対策箇所が多く、整備率は19年度末で29.9%と低い。 ・整備箇所について、H20に見直しを行った。 【原因分析(ギャップが発生している原因は何か)】 ・県内の一般国道・県道のうち約5割は山間部を通過しており、地形が急峻で地質が脆弱なことから、落石等による危険箇所が多い。 【課題の特定(事業の実施により解決しようとする課題は何か)】 ・山間部の地形が急峻で地質が脆弱な区間における落石等の危険性が高い箇所について、落石防護工などの防災対策施設を整備し、災害の発生を未然に防止する必要がある。								
		法面や路肩、トンネルなどの危険な兆候のある道路施設について、防災対策施設を設置する。 ・道路災害防除事業(補助率:【国】1/2、【県】1/2) ・地方道路整備臨時交付金(補助率:【国】5.5/10、【県】4.5/10) ・地域自立・活性化交付金(補助率:【国】4.5/10、【県】5.5/10)								
		実施期間 S30 ~ 根拠法令等 道路法								
	成果と達成状況	事業の目指す成果		達成度(期待どおり)の判定基準(H20)			達成状況		評価	
・道路防災総点検における落石等への要対策箇所の解消を図り、安全な道路交通を確保する。		・道路防災総点検における落石等への要対策箇所の整備率を31.5%まで増加させる。			・整備率は31.7%となり、期待どおりの成果が得られた。		a.期待以上 b.期待どおり c.やや下回る d.期待以下			
事業コスト	区 分		単位	19年度	20年度	21年度(当初)	20年度の概要			
	最終予算額 (A)		千円	1,079,300	1,145,390	1,030,000	国庫・県単	公共		
	決 算 額 (B)		千円	1,194,728	1,211,778		実施方法	直接		
	B(H21はA)のうち一般財源		千円	256,101	265,387	138,936	歳出節別内訳等	H20予算現額(最終予算額 + 繰越額) 1,616,490 千円		
	概 算 人件費	従事する職員数	人	26.80	22.80	17.80	(単位: 千円)	1箇所当たり平均工事期間 7.0 年		
	概算事業費 (B(H21はA) + C)		千円	1,194,728	1,211,778	1,030,000				
事業実績	内 容		単位	19年度	20年度	21年度(予定)	左記以外の20年度の実績			
	事業実施箇所数		箇所	22	24	23	・20年度完了箇所数 21箇所			
	落石等危険箇所の整備率		%	29.9	31.7	33.4				
事業の課題	区 分		判 定 ・ 説 明							
	事業のニーズの変化		増加	横ばい	減少	判定の説明	・17年5月、19年8月の落石・岩盤崩落により、死傷事故が発生していることから、事業のニーズは高い。 ・道路法により道路の管理は県が行うものとされている。 ・事業効果の早期発現のため、重点化・コスト縮減等を行い、継続して実施する。			
	県の関与を見直す余地		余地なし	当面余地なし	余地あり					
	有効性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり					
	効率性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり					
	課題の総括		・落石等危険箇所の未対策箇所は平成20年度末で約1,600箇所あり、緊急輸送路や異常気象時通行規制区間など緊急性が高い箇所から順次整備を進める必要がある。							